

【日時】 2008年6月28日(土)～29日(日)

【メンバー】L佐貫、棚橋、斎藤(健)、木下

当初、同じ室谷川の南大谷沢～谷沢川源流～日本平山～早出川ダムという計画であったが、日曜日にはかなりの雨が降る予報に変わった。新津駅で転進を決定。早めの下山が出来る本ルートに・・・なかなか行けないであろう東岐山に立ち、山深い室谷川減流域の山並みを俯瞰することができた。

6/28(晴)

家にヘルメットを忘れてきてしまい、「どこかヘルメットを売っているところを知りませんか？」と朝一番からタクシーの運転手に聞いてみる。親切にも電話で問合わせしてくれ、津川の金物屋にあることが判明。わざわざ店を開けてくれた金物屋のおじいさんから2000円で購入。これで「大事な？頭」が守れ、一安心。

室谷集落の奥、工事通行止め(ここまで舗装)までタクシーで入り、林道を30分ほど歩き、大久蔵沢の出合から川に降りる。穏やかな流れと深い森、よい所だ。しばらくで甌穴状のゴルジュとなり泳ぎが入るが、流れは緩く楽しい。関門のような5m滝も左から快適に登れ、美しい溪相に引き込まれていく。程なくして左岸より駒形沢が入ると直ぐに東岐沢に出合う。



東岐沢は小滝が続くが、初め所々にトラロープがフィックスされており結構人くさい。CS滝にチャレンジする棚橋、斎藤を横目に左岸から小さく巻いて二人を待つ。兩岸スラブのゴルジュ状になり小さいブロックを越していく。まだ大水が出ていないのであろう、雪溪が解けた状態のままで塵が岩に乗っている。

平凡な沢筋を行くと突然、20m滝が現われる。支流にも滝が懸り、目も覚める。支流との中間尾根に踏跡があり、また滝上の平地には鍋などがあり、かつて小屋跡であろう。そういえば滝が続くのに魚影が濃い沢である。「おお！」再び大滝、先ほどより大きい、30mはある美しい滝である、左岸の草付から巻く。この辺りが遡行図のない沢の意外性で面白いところであろう。

平凡な沢筋を行くと突然、20m滝が現われる。支流にも滝が懸り、目も覚める。支流との中間尾根に踏跡があり、また滝上の平地には鍋などがあり、かつて小屋跡であろう。そういえば滝が続くのに魚影が濃い沢である。「おお！」再び大滝、先ほどより大きい、30mはある美しい滝である、左岸の草付から巻く。この辺りが遡行図のない沢の意外性で面白いところであろう。

小金井山への支流を分け、詰めに入ると右沢は傾斜の緩い20mスラブ滝。こちらに心惹かれるが東岐山のピーク目指して左沢へ。小滝を越していくとやっぱりこちらにもスラブ滝が現われる。右から直登可能と見たが、ザイルを出すようなので時短で左から巻く。

最後はボロスラブとなり落石が怖いので左手のブッシュに入って詰め上げる。振り返ると午後の斜光線に浮び上がった室谷川源流の尾根やスラブが織り成す山並が美しい、たった標高1000mくらいの山なのにこの深さ、魅力的な流域だ。藪を漕いで、稜線をやや東に進み、周辺が一番高い所を東岐山に決定、小休止。



コンパスをあわせて下降に入る、暫くは藪伝いに降りていくが、途中、小さなスラブがあり只見方面が良く見える、先程の室谷川と違い人里に近い雰囲気がある。そろそろいい時間なので幕場を探しながら藪っぽい沢を下る。二俣を過ぎたところに平地を発見、土木工事をして、雨に備えタープをしっかりと張ってよい幕場とした。焚火を付けて、ビールを開け乾杯、いつもの楽しい夕餉である。夜半より強い雨が降る。

6/29 (雨)

小雨の中、出発。小滝を降りていくと15mほどの連瀑、右岸から巻いて最後は懸垂。再び小滝の溪相、平凡のまままで終わるのかなと思っていると大滝、30mはありそうだ。両岸はスラブ状になっており大滝の下もゴルジュが続いている。右岸から大きく巻いたが早く降りすぎたようで枝沢を越

すのが面倒。懸垂30mでゴルジュの中に降り立つ。直下狭く、両手が付くほどだが困難はなく容易に出口に出た。ここが「官袋」かしら・・・あとは平凡な河原を行くと堰堤が現われ、左岸を少し登ると踏跡に当たり、林道に出る。

強くなってきた雨の中、ひたすら林道歩きと覚悟を決め、黙々と歩く。ゲートを過ぎ30分ほど歩いたのだろうか、軽トラ発見。先に行く棚さんが話しかけている。蕨取りに来ているらしい。親切なおじさんは「沢山あるから、蕨を取っていけ」と言う。言葉に甘えて良きお土産とばかり、取り方まで教えてもらってしばし夢中になる。今度はおじさん、「軽トラに乗って家まで行き、そこでタクシーを呼べばよい」と言う。多分、佐貫さん効果（男3人ではそうはならないだろう）であろう。雨中の2時間の林道歩きから開放され、お土産も付いて感謝、ありがとうございました。

タクシーで山口に出て、温泉に入り、バスで会津田島へ、野岩鉄道でのびりと帰京。今回は会越国境の山深さを垣間見、また地元の方に親切にしてもらい、ほのぼのした山旅でありました。

【行程】 6/28 大久蔵沢出合 (8:35) - 東岐沢出合 (10:00) - 東岐山 (15:30-45) - 大官袋沢二俣下C1 (16:55)

6/29C1 (6:05) - 蒲生林道 (9:10)

【地図】 駒形山 只見

会越・室谷川東流沢～大官袋沢下降

2008.08.28～29 作図：木下

